

内・外装用

日本建築仕上材工業会登録

登録番号

0807010

放散等級区分表示

F☆☆☆☆

問合せ先

<http://www.nsk-web.org/>

〈村檜の現代しゅくい〉
〈マリンライム〉〈村檜のしゅくい〉推奨下地材

MKプラスター

内外装下地処理材

〈特徴〉

① 優れた施工性

非石膏系で、特殊粉末樹脂を使用した一材型タイプであり、施工性に優れる

② 漆喰の塗り替え

古い漆喰下地への漆喰仕上げが可能

③ 不陸調整が可能

ボード小口の肉盛りもできます

④ 内・外装施工も可能

内装…そのまま使用ください

外装…外装用添加材併用で使用ください



〈適応下地〉

内装	石膏ボード、既存しゅくい
外装	コンクリート・セメントモルタル、既存しゅくい



創業安政元年
村檜石灰工業株式会社

練り方

内装施工



1 プラスチック容器に、標準加水量の80%程度(約1.1リットル)の水を入れる。

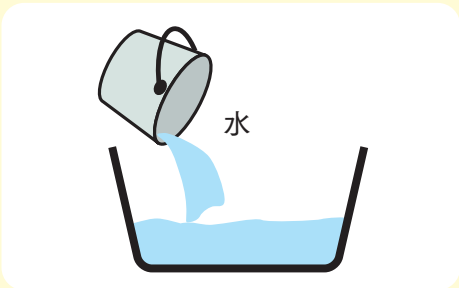


2 〈MKプラスター〉4kg/袋を入れ、ダマが無くなるまで良く練り合わせる。
十分に練り合わせたら、軟らかくなりすぎないように残りの水(約0.3リットル)を加えて練り上げて下さい。

〈内装標準仕様〉

名称	MKプラスター
正味重量	4.0kg/袋
標準加水量	約1.4リットル
標準施工面積	3.3m ² (1坪)
標準塗り厚	約1.0mm
可使時間	60分間(20℃)
荷姿	4kg×5袋/箱

外装施工



1 プラスチック容器に、標準加水量の80%程度(約1.4リットル)の水を入れる。

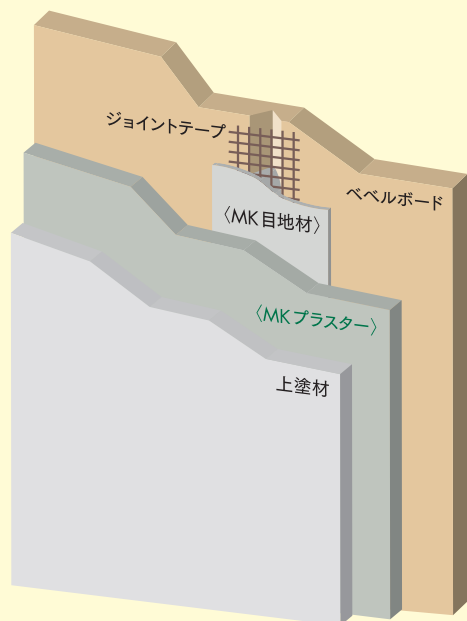


2 〈MKプラスター〉4kg/袋、〈MKプラスター専用外装用添加剤〉1kg/袋を入れ、ダマが無くなるまで良く練り合わせる。
十分に練り合わせたら、軟らかくなりすぎないように残りの水(約0.4リットル)を加えて練り上げて下さい。

〈外装標準仕様〉

名称	MKプラスター＋外装用添加剤
正味重量	4.0kg/袋＋1.0kg/袋
標準加水量	約1.8リットル
標準施工面積	4.5m ²
標準塗り厚	約1.0mm
可使時間	60分間(20℃)
荷姿	4kg×5袋/箱(MKプラスター) 1kg×20袋/箱(外装用添加剤)

ベベルボード(石膏ボード)下地



1 下地の確認

石膏ボードはステンレス、もしくは亜鉛メッキの専用ビスで十分固定されていることを確認してください。

2 下地処理の前に

見切り、廻り縁、柱、床などを汚さないために、マスキングテープで養生してください。

3 目地処理

①ボードジョイント部に〈MK目地材〉を埋め込んでください。その際、ジョイント部が盛り上がらないよう余分な材料はかき取ってください。埋め込んだ目地材の上から、ジョイントテープをたるまないように貼り付けてください。

②入隅・出隅にジョイントテープを貼り付けます(ジョイントテープは幅50mmのものが一般的ですが、面拘束力が大きくなる幅100mmや幅150mmの幅広タイプを推奨します)。

③ボード固定用のビス穴にも〈MK目地材〉を埋め込んでください。

乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください)

4 下地処理

〈MKプラスター〉を全面に塗り付け、鰻むらを取り平滑に仕上げてください(塗り厚は1mm厚程度)。

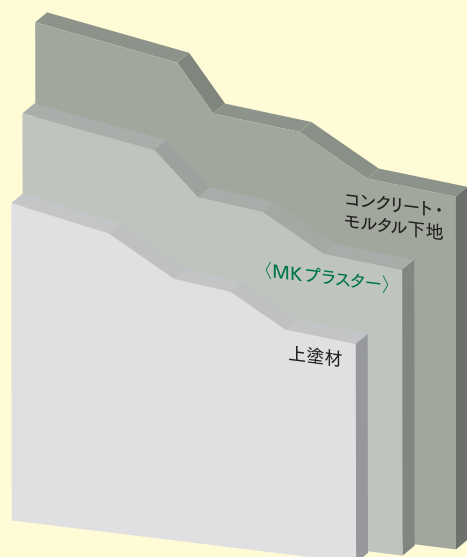
乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください。中1日置いた方が吸水がよくなります)

5 上塗り施工

①〈MKプラスター〉のバリ(凸部)や塗り残しが無いことを確認してください。

②上塗材を適量鍔板に取り、一度しごき塗り後、追っかけで所定の厚みに塗り付けてください。

コンクリート・セメントモルタル下地



1 下地の確認

レタンス・ジャンカ・不陸・クラックなどが無いことを確認してください。

2 下地処理の前に

①レタンスは除去してください。

②ジャンカ・不陸・クラック等は、市販の補修材で調整し乾燥させてください。

3 下地処理

①見切り、廻り縁、柱、床などを汚さないために、マスキングテープで養生してください。

②気温が高い夏季は、〈MKプラスター〉を施工する前に、〈フジプライマー F45〉※3倍液を塗布してください(塗布量:90~120g/m²)。

③〈MKプラスター〉を全面に塗り付け、鰻むらを取り平滑に仕上げてください(塗り厚は1mm程度)。ドライアウトを起こす可能性があるため、強風及び直射日光が当たらないようシート養生をしてください。

乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください。中1日置いた方が吸水がよくなります)

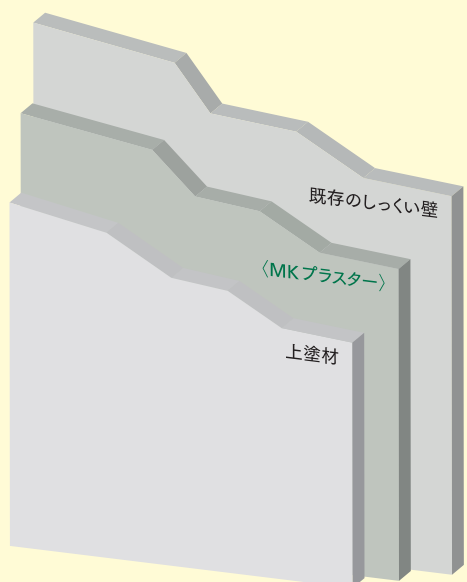
4 上塗り施工

①〈MKプラスター〉のバリ(凸部)や塗り残しが無いことを確認してください。

②上塗材を適量鍔板に取り、一度しごき塗り後、追っかけで所定の厚みに塗り付けてください。

※〈フジプライマー F45〉は村瀬石灰の商品です。

既存しっくい下地(補修)



1 下地の確認

①既存しっくいの強度を確認してください。

②はがれ、浮きを確認してください。

③埃、油汚れの有無を確認してください。

2 下地処理の前に

①見切り、廻り縁、柱、床などを汚さないために、マスキングテープで養生してください。

②浮いているところはケレンなどで剥がしてください。

③表面についた埃は、刷毛やブラシで落としてください。

④ケレンで剥がした部分・クラック等は、硬めに練った〈MKプラスター〉で補修し、乾燥させてください。クラックが発生している場合は全面に寒冷紗を貼り付けてください。

3 下地処理

①アク止めシーラーを所定量塗布してください。

乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください)

②〈MKプラスター〉を全面に塗り付け、鰻むらを取り平滑に仕上げてください(塗り厚は1mm程度)。

乾燥養生(しっかり乾燥させてから次の工程に進んでください。中1日置いた方が吸水がよくなります)

4 上塗り施工

①〈MKプラスター〉のバリ(凸部)や塗り残しが無いことを確認してください。

②上塗材を適量鍔板に取り、一度しごき塗り後、追っかけで所定の厚みに塗り付けてください。

〈使用上の注意〉

- 練り水は、清水を用いてください。
- 施工後、気温5℃以下になる恐れがある場合は施工を避けてください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。
- 可使時間を過ぎてから水を加えて練り返すと強度低下の原因になります。
- 取扱いの際は適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・マスク等)を着用してください。

〈応急処置〉

- 目に入った場合……直ちに清浄な流水で20分以上徹底的に洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合……直ちに清浄な水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……汚染された衣類を脱ぎ、直ちに清浄な流水でよく洗浄し、ハンドクリーム等でケアしてください。



創業安政元年
村檜石灰工業株式会社

〈建材事業部〉

〒327-0509 栃木県佐野市宮下町1-10
tel 0283-86-3677 fax 0283-86-4118
kenzai@murakashi.co.jp
<https://www.murakashi.co.jp/>

村檜しっくい
channel



YouTube



〈特約代理店〉